

後期基本計画 令和 4年度 基本施策方針評価書

政 策 : 04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

基本施策 : 02 計画的な道路整備と維持管理

主管課長職・氏名	道路課長 大森 英樹
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の令和 4年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

		安心・快適な暮らしを支える重要な生活基盤である道路について、少子高齢化の進行や施設の老朽化による補修・更新需要の増加が見込まれる中、道路網の整備とともに、既存道路ストックの効果的な利活用によるコスト縮減を含めた維持管理を計画的に実施し、安全で安心な道路環境の整備を目指します。						
--	--	--	--	--	--	--	--	--

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 交通事故発生件数 単位 件以下	71	71	71	71	71	71	D
			57	65	65	41	41	0.0
2	幸福 子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %以上	65.8	65.8	65.8	65.8	65.8	65.8	D
			67.1	66.6	67.8	71.4	71.4	0.0
	単位							

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 04020100 安全・快適な幹線道路網の整備 交通事故発生件数 単位 件以下	71	71	71	71	71	71	D
			57	65	65	41	41	0.0
2	暮らし 04020200 より安全で安心な道路環境の整備 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	76	77	79	80	80	C
			69.1	68.1	71.2	75	75	7.4
	単位							
	単位							
	単位							

後期基本計画 令和 4年度 基本施策方針評価書

政 策：04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

基本施策：02 計画的な道路整備と維持管理

主管課長職・氏名	道路課長 大森 英樹
関係課長職・氏名	

2. 基本施策の実現に向けての令和 4年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> 「道路整備計画」「道路維持管理計画」の更新に向け、現行の道路整備計画の事業進捗の整理及び道路修繕台帳の登載内容の精査を行いました。また、個別計画として「橋梁長寿命化修繕計画」の更新を行いました。 住民主導の協働除雪を推進するため、協働除雪ハンドブックの作成、及び活用し協働除雪の浸透を図るとともに、展開を進めました。 	

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、令和 4年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【安全・快適な幹線道路道路網の整備】</p> <p>幹線市道の整備として市道巣子野沢線及び市道向新田線の用地取得及び事業の推進を図りました。</p> <p>【より安全で安心な道路環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の通学路の安全対策として、市道第1湯舟沢線の道路改修事業を推進しました。 老朽化対策として舗装の更新及び橋梁の点検を実施し、雨水排水対策として側溝改修を行いました。また、冬期間の安全対策として防雪柵の整備を行いました。 	

3. 基本施策の実現に向けての令和 4年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<p>住民の高齢化、道路施設の老朽化により補修・更新需要は高まっている中で財源確保は困難となっています。</p>	

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 6年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <p>現在進めている事業の推進を優先し、「道路整備計画」「道路維持管理計画」に基づき、計画的な道路新設改良及び老朽化対策を推進してまいります。</p> <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定財源が減少する中での道路新設改良に代わる幹線道路の安全対策のため既存道路を有効活用した歩行者空間の確保の検討が必要です。 住民主体の協働除雪の市内全域への浸透を進めるとともに、増加する除雪困難者への支援の検討が必要です。 	

